

ウッド・チェンジ協議会

～協議会の検討状況について～

令和6年9月25日
林野庁



ウッド・チェンジ協議会のこれまでの活動

令和3年
9月

【第1回本会合】（令和3年9月13日）

- ・木材利用について各界における取組の発表、意見交換
- ・会合等で挙げられた課題等を踏まえ5つの小グループで検討を実施することを決定。

小グループ会合を随時開催

令和4年
5月

【第2回本会合】（令和4年5月16日）

- ・小グループの成果報告（低層～高層建築物での木材利用、内装木質化等の普及資料の作成）
- ・関係省庁からの報告
- ・上記の発表・報告を踏まえた意見交換
- ・小グループで引き続き検討を進めることを決定



9月

【第3回本会合】（令和4年9月30日）

- ・協議会会員の「ウッド・チェンジ」の取組、「木材利用促進月間」での普及活動の発表
- ・小グループでの検討状況についての報告
- ・上記の発表・報告を踏まえた意見交換

令和5年
6月

【第4回本会合】（令和5年6月5日）

- ・小グループの成果報告（低層小規模、中規模ビルの木造化モデル、連携事例集等の普及資料の作成）
- ・関係省庁からの報告
- ・上記の発表・報告を踏まえた意見交換
- ・小グループで引き続き検討を進めることを決定



令和5年
10月

【第5回本会合】（令和5年10月2日）

- ・協議会会員の「ウッド・チェンジ」の取組、「木材利用促進月間」での普及活動の発表
- ・小グループでの検討状況についての報告
- ・上記の発表・報告を踏まえた意見交換

小グループ会合を随時開催

令和6年
6月

【第6回本会合】（令和6年6月6日）

- ・小グループの成果報告（低層～高層建築物での木材利用、内装木質化、連携事例集等の普及資料の作成）
- ・関係省庁からの報告
- ・上記の発表・報告を踏まえた意見交換
- ・小グループで引き続き検討を進めることを決定



9月

【第7回本会合】（令和6年9月25日）

- ・協議会会員の「ウッド・チェンジ」の取組、「木材利用促進月間」での普及活動の発表
- ・小グループでの検討状況についての報告
- ・上記の発表・報告を踏まえた意見交換

ウッド・チェンジ協議会小グループの構成メンバー

木材利用環境 整備G	情報発信G	低層小規模 建築物G	中規模ビルG	高層ビルG
事務局：林野庁 [経済団体] (公社)経済同友会、日本商工会議所 [建設関係団体] (一社)住宅生産団体連合会、全国建設労働組合総連合、(公社)日本建築士会連合会 [木材供給関係団体] 全国森林組合連合会、(一社)全国木材組合連合会、(一社)日本林業経営者協会 [行政団体] 全国知事会、全国市長会、全国町村会、みなと森と水ネットワーク会議 [その他団体] ウッドソリューション・ネットワーク、(公財)日本住宅・木材技術センター、(一社)日本ウッドデザイン協会 [施主] 日本マクドナルドホールディングス(株)、(株)セブンイレブン・ジャパン、三菱地所(株) [建設事業者] SMB建材(株)、(株)大林組、(株)シェルター、住友林業(株)、(株)竹中工務店、東急建設(株)、ナイス(株)、前田建設工業(株)、ライフデザイン・カバヤ(株) [設計事業者] (株)日建設計 [研究機関] (国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 [関係省] 国土交通省 [オブザーバー] (一社)九州経済連合会	主査：恒次祐子 東京大学教授 [建築主] 中央日本土地建物(株)、東京海上日動火災保険(株)、ヒューリック(株) [建設事業者] (株)大林組、住友林業(株)、(株)竹中工務店、ナイス(株)、前田建設工業(株)、三菱地所(株) [設計事業者] (株)久慈設計 [関係団体] (一社)全国木材組合連合会、全国知事会、ウッドソリューション・ネットワーク、(公財)国際観光施設協会、(公財)日本住宅・木材技術センター [研究機関] (国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 [関係省] 国土交通省、林野庁 [オブザーバー] (一社)九州経済連合会	主査：大橋好光 東京都市大学名誉教授 [建築主] 日本マクドナルド(株)、三菱地所(株) [建設事業者] SMB建材(株)、(株)シェルター、住友林業(株)、(株)竹中工務店、東急建設(株)、ナイス(株)、ポラス(株)、ライフデザイン・カバヤ(株) [木材供給関係団体] 中国木材(株)、銘建工業 [関係団体] (一社)中大規模木造ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ技術協会、全国知事会、(公財)日本住宅・木材技術センター [研究機関] (国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 [関係省] 国土交通省、林野庁 [オブザーバー] (一社)九州経済連合会	主査：山代悟 芝浦工業大学教授 [建築主] 中央日本土地建物(株)、ヒューリック(株)、三菱地所(株)、 [建設事業者] SMB建材(株)、(株)大林組、(株)シェルター、住友林業(株)、(株)竹中工務店、東急建設(株)、ナイス(株)、前田建設工業(株)、ライフデザイン・カバヤ(株) [設計事業者] (株)久慈設計 [木材供給関係団体] 中国木材(株)、銘建工業 [関係団体] (一社)全国木材組合連合会、全国知事会、ウッドソリューション・ネットワーク、(公財)国際観光施設協会、(公財)日本住宅・木材技術センター [研究機関] (国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 [関係省] 国土交通省、林野庁 [オブザーバー] (一社)九州経済連合会	事務局：林野庁 [建設関係団体] (一社)日本建設業連合会、(一社)日本ビルディング協会連合会、(一社)不動産協会 [その他団体] (公財) 日本住宅・木材技術センター [行政団体] 全国知事会 [施主] 中央日本土地建物(株)、東京海上日動火災保険(株)、ヒューリック(株)、三菱地所(株) [建設事業者] (株)大林組、(株)シェルター、住友林業(株)、(株)竹中工務店、東急建設(株)、前田建設工業(株)、 [設計事業者] (株)日建設計 [木材供給事業者] 銘建工業(株) [関係省] 国土交通省 [オブザーバー] (一社)九州経済連合会

木材利用環境整備グループの取組

グループの目的

○SDGsへの貢献やESG投資の動きも踏まえ、川上から川下の関係者の連携のあり方や木材利用による環境・社会的貢献度の見える化について検討

課題

○木材利用促進の環境を整備するため、関係者間の連携の促進、施主にとってのメリットや懸念事項に関する情報の開示を更に進めることが必要

これまでの取組と今後のスケジュール

- ・川上（森林組合）を招聘しての川上・川中・川下の相互連携に向けた議論（ケーススタディ）
- ・川下企業による木造化を後押しする環境指標等への対応検討（サーキュラーエコノミー、生物多様性対応等）
- ・社内教育実施事例の紹介（三菱地所ホーム（別紙））

今後のスケジュール（予定）

○第8回：R7年1月頃

目標・成果

- 当グループの議論を起点とした連携事例の試行、展開、成果検証
- 木造建築物の耐用年数の適正な評価等に向けた事例の収集や建築後期間を経ている木造建築の耐久性に関する事例についての収集・整理・取りまとめ
- グループ参加者の環境指標等への対応のとりまとめと共通課題の抽出

キーワードは“人とのつながり”

森を守る仕事、小田原市森林組合の使命は多岐に渡ります。

これまで繋げてきたもの、そして未来へつなぐもの。

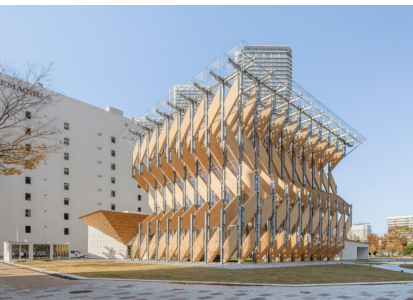
そこにはいつも人とのつながりがありました。



小田原の森と共に

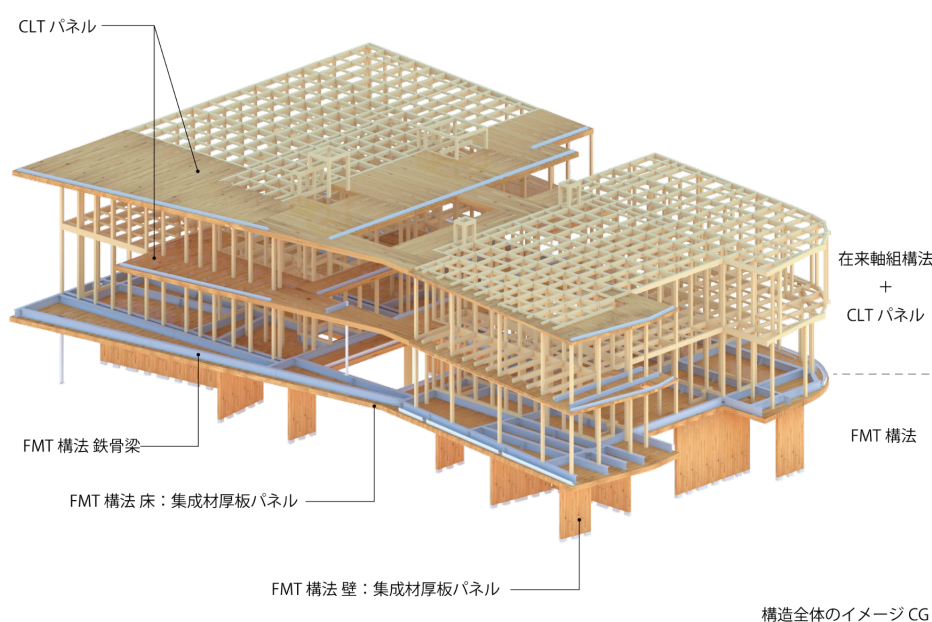


三菱地所ホーム株式会社



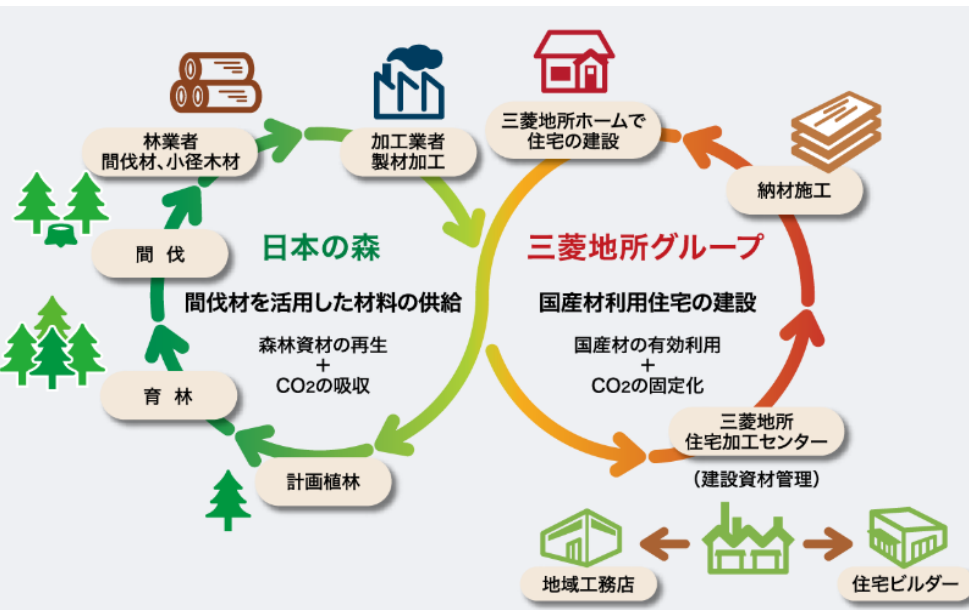
事業主：三菱地所（株）
デザイン監修：隈研吾建築都市設計事務所
設計監理：（株）三菱地所設計
施工：三菱地所ホーム（株）

事業主：（公財）東京都都市づくり公社
設計監理：（株）スタジオ・クハラ・ヤギ
施工：三菱地所ホーム（株）



— 主体性を育む体験型講座 —

企業の森ワークショップ



三菱地所ホームの青空オフィス

YAMANASHI BASE



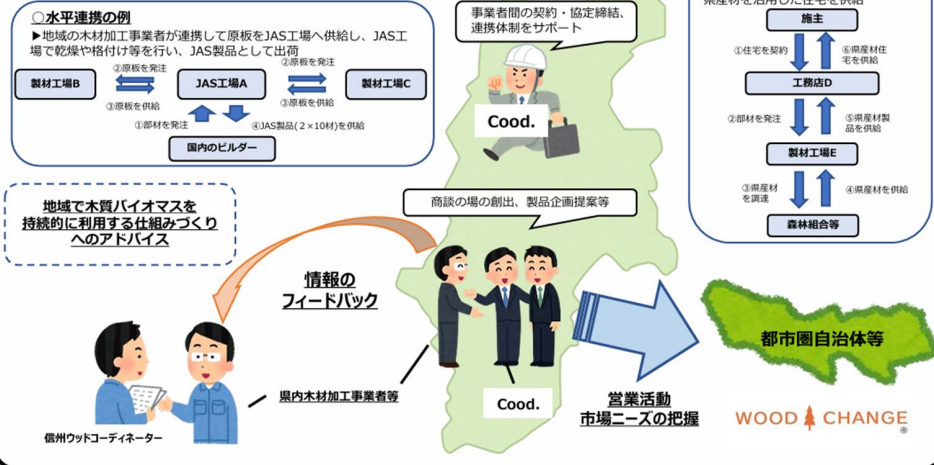
長野森林組合

1. 長野森林組合の概要
2. 皆伐再造林への取組
樹木採取権
民間企業との連携
3. 働きやすい職場環境づくり
日本で一番女性が働きやすい森林組合を目指して
活躍する女性職員①②
4. SDGsへの取組
子供たちへの木育
木造構造物
5. 信州ウッドコーディネーターの取組

日本で一番女性が働きやすい森林組合を目指して



Cood.活動のイメージ



情報発信グループの取組

グループの目的

- 建築主等へ木材利用を訴求するため、木の効果について科学的に実証された効果の整理等について検討

課 題

- 建築主等へ木材利用を訴求するためには、生産性や経済面での効果も含め、科学的に実証された効果を整理された形で普及することが必要

これまでの取組と今後のスケジュール

- 会合の開催に向けての事前調整(7月～9月)
 - ・木の建築物の効果について、新たな知見も踏まえて効果の整理・分析・検討を実施
 - ・内装木質化による経年事例等の追加・掘り下げ

今後のスケジュール(予定)

- 第1回会合:9月頃
- 第2回会合:来年1月頃
- 第3回会合:来年3月頃

目標・成果

- 木の建築物の効果について、心理面、身体面、学習面、生産性や経済面等、多様な場面での効果を最新の知見も踏まえて整理
- 上記の整理した内容を取りまとめ、建築主等が理解しやすい普及資料を作成
- 普及資料について、セミナーの開催等を通じて情報発信

低層小規模建築物グループの取組

グループの目的

- 木造化が進んでいない非住宅の木造低層小規模建築物について、木造化モデル等を活用して木造化を普及するための取組を検討

課 題

- 木造低層小規模建築物の主な担い手として期待される地域の工務店等は、非住宅建築における施工管理業務の経験が少ない。地域の工務店等による非住宅低層小規模建築物を木造で実現するため、施工管理体制構築に資する支援の検討が必要

これまでの取組と今後のスケジュール

- 第1回 低層小規模建築物G会合の開催(8月7日)
地域工務店等の支援体制の実証の取組について
 - ・非住宅低層小規模建築物施工管理における検証作業を通じたひな形図書の精査等
 - ・ひな形図書を参照とした施工管理図書の作成・分析

今後のスケジュール(予定)

- 第2回会合:10月頃
- 第3回会合:来年2月頃
- セミナーの開催:来年3月頃

目標・成果

- 発注主体や施工方式等を考慮したさらに実用性の高い木造低層小規模建築物の施工管理図書の様式(ひな形図書)を検討
- 上記の成果に関する普及資料の作成とセミナー開催

中規模ビルグループの取組

グループの目的

- 木造化が進んでいない中規模ビルについて、建設の担い手や建築主等への訴求を意識した木造化モデルを作成し、その普及に向けた取組を検討

課 題

- 木造の中規模ビルの経験がない地方の建設会社等に木造化に取り組んでもらうため、標準的な木造化モデル等の充実、その普及が必要

これまでの取組と今後のスケジュール

- 第1回 中規模ビルG会合の開催(8月8日)
 - ・中規模4階建て事務所ビルの木造化モデル案の普及に向けた設計手引き(マニュアル) の検討
 - ・中規模ビルの木造化モデル案検討(延べ面積3000㎡程度)
 - ・中規模ビル3階建て事務所の木造化標準モデルの普及

今後のスケジュール(予定)

- 第2回会合:10月上旬
- 第3回会合:来年2月初旬
- セミナー:来年2月中旬

目標・成果

- 4階建て事務所の木造化標準モデル設計手引きの作成
- 店舗等の木造化モデルの整備
- 3階建て事務所の木造化標準モデル設計手引きの作成
- 上記の成果に関する普及資料の作成とセミナー開催

高層ビルグループの取組

グループの目的

- 建築主等に対して都市部の建築物における木材利用の魅力・可能性を訴求していくため、高層木造ビルに関する普及ツールの検討や、普及活動により高層建築物での木材利用を促進

課題

- 普及ツールとしての事例集の充実
先行事例を整理するとともに、他の施主への波及効果のあるPR方法の検討
- ターゲットの明確化(地域、施主)
3大都市圏や政令指定都市での高層木造ビルの更なる推進

これまでの取組と今後のスケジュール

- 高層木造ビル事例集の充実化に向けた施主へのインタビュー実施への準備
 - ・インタビュー質問事項の整理
 - ・ヒアリング候補の選定、日程調整

今後のスケジュール(予定)

- インタビュー実施:10月～
- 事例集の公表:来年1月頃

目標・成果

- 最新事例集の公表
 - ・木造事例集の中から3件程度、インタビューを実施
(会社として木造化を決めたきっかけ・狙い、木造化に取り組んで苦労したこと
メンテナンスについての想定と実際の違い、社員の方々の反応、国への要望 等)

令和6年度 ウッド・チェンジ協議会の全体スケジュール(予定を含む)

	R6 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7 1月	2月	3月
本会合			★ 6日			★ 25日						
木材利用環境 整備G		★ 22日					★			★		
情報発信G						★ 下旬				★	★ セミナー	★
低層小規模 建築物G					★ 7日		★ 18日				★	★ セミナー
中規模ビルG					★ 8日		★ 8日				★	★ セミナー
高層ビルG						★ 18日				★		